

# おくすりコミュニケーションカード

## 使用ガイド



聴覚に障がいがある人・耳の聞こえにくい人は、  
 本当は理解できていなくてももうまく聞き返せずに、  
不安な気持ちを抱えてしまうことがあります。  
 服薬指導の際はこのコミュニケーションカードを  
 上手に活用し、また必要に応じて筆談等  
 コミュニケーションを取ることを心がけましょう。



カードは下記のように構成されています

### 初回・来店時〈6枚〉

① 初回・来店時

会話の方法を教えてください

ゆっくり話す 筆談 絵カード

### 服薬指導(初回)〈6枚〉

② 服薬指導(初回)

食べ物のアレルギーはありますか？

ない 卵 牛乳 小麦  
 そば 落花生 かに えび その他

### 症状確認ツール〈9枚〉

③ 症状確認ツール

かぜ・かぜに似た症状

- 熱がある
- 咳が出る
- のどが痛い
- たんが出る
- 寒気がする
- 鼻水が出る(鼻づまり)
- 関節が痛い
- 頭が痛い

### 服薬指導(毎回)〈8枚〉

④ 服薬指導(毎回)

お薬の用法

今回お渡しするお薬の服用回数は、1日 **1回** **2回** **3回** です

お薬を飲むタイミングは

起床時 就寝前 朝 昼 夜

食後 食前 食直前 食間

### 会計時〈2枚〉

⑤ 会計時

私の説明は分かりましたか？

はい 分からない事がある いいえ

他に聞きたい事はありますか？

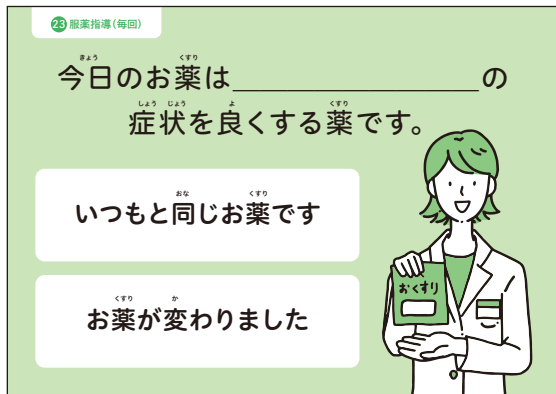
いいえ はい

どうぞお大事にしてください

# カードを使用する際のポイント

## お薬の用法を説明する時の例①

### 服薬指導 (毎回)



### ⑭～⑳症状確認



⑳のカードの空欄に当てはまる症状を⑭～㉑のカードを用いて指差して再確認しましょう。当てはまる症状がない場合は、筆談を使用しましょう。

## お薬の用法を説明する時の例②

### ㉒服薬指導 (毎回)



### ㉔服薬指導 (毎回)



薬の服用回数、タイミング(時間)を㉒のカードを使って指差して確実に伝えてから、㉔のカードで服用方法を改めて確認しましょう。このように2つのカードを組み合わせて使用するとより伝わりやすくなります。「食後」「食前」等の意味は、必要に応じて㉕のカードを使用して説明してください。



聴覚に障がいがある人向けに、おくすりコミュニケーションカード【携帯版】を配布しています。患者さんが症状を伝えるために、そのカードを持参することもあります。